

NTT-ATの5つのビジョン。



Ver.7.2.0 WinActorEye リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

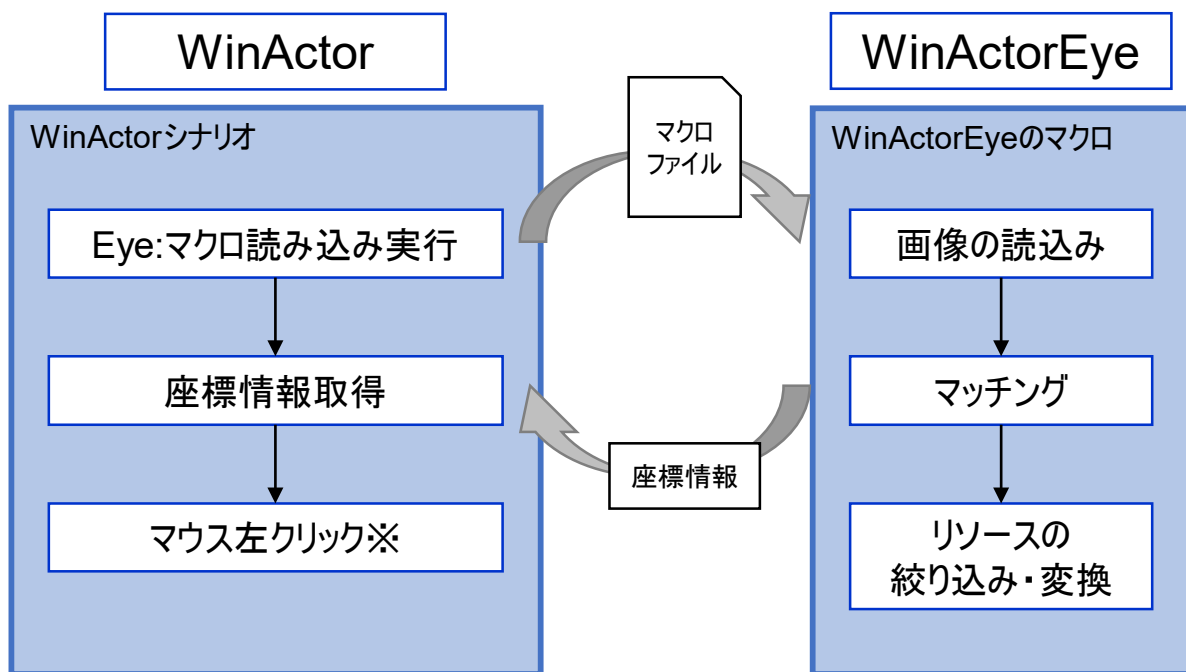
WinActorEye とは (1/2)



WinActorEyeは、Ver.6.3.0で追加された複数の探索条件を組み合わせることで目的のアイコンやUIを探す(マッチング)画像認識専用ツールです。WinActorのシナリオから本ツールへアクセスし、マッチング機能やOCR機能が使用できます。

従来の画像マッチングと比較したメリット

- ・画面の拡大縮小に強い
- ・目視でマッチングの成否を確認可能
- ・マッチングのパラメータを細かく調整可能



※ユーザライブラリの「マウス関連」からお選びいただけます。



WinActorEye とは (2/2)



Ver.7.2.0に同梱されるWinActorEyeは、以下の特徴があります。

- UI、操作性の改善
- 多言語対応
- QRコード/バーコード読み取り・作成機能
- 探索手段の拡大、直感的操作可能な探索機能の追加
- リソース情報の拡張、編集機能の改善
- ワークフォルダ設定・表示
- スナップショット機能の改善
- ユーザライブラリの拡充
- 不具合改善

新機能の表記について



このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版でご利用できます。



この表記がある場合、FL版でご利用できます。



この表記がある場合、フル機能版でご利用できます。



この表記がある場合、実行版でご利用できます。



この表記がある場合、管理実行版でご利用できます。

UI、操作性の改善（1/2）

NTT-ATの5つのビジョン。



Ver.7.2ではウインドウを1つに集約することで操作性を改善しました。



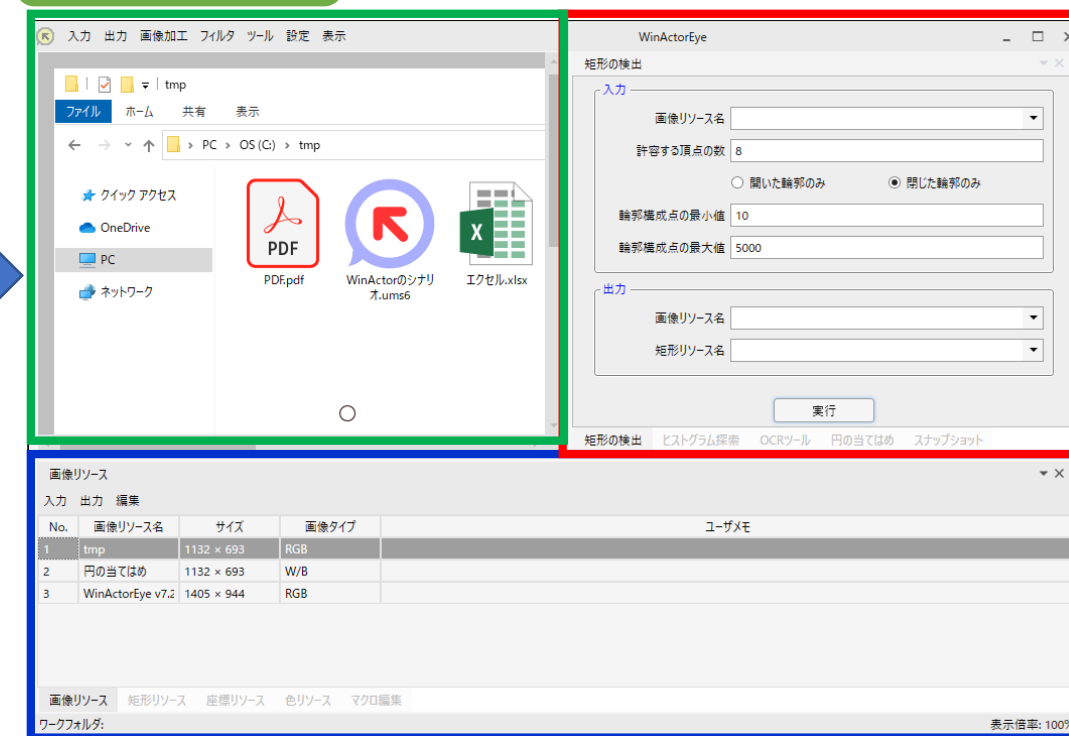
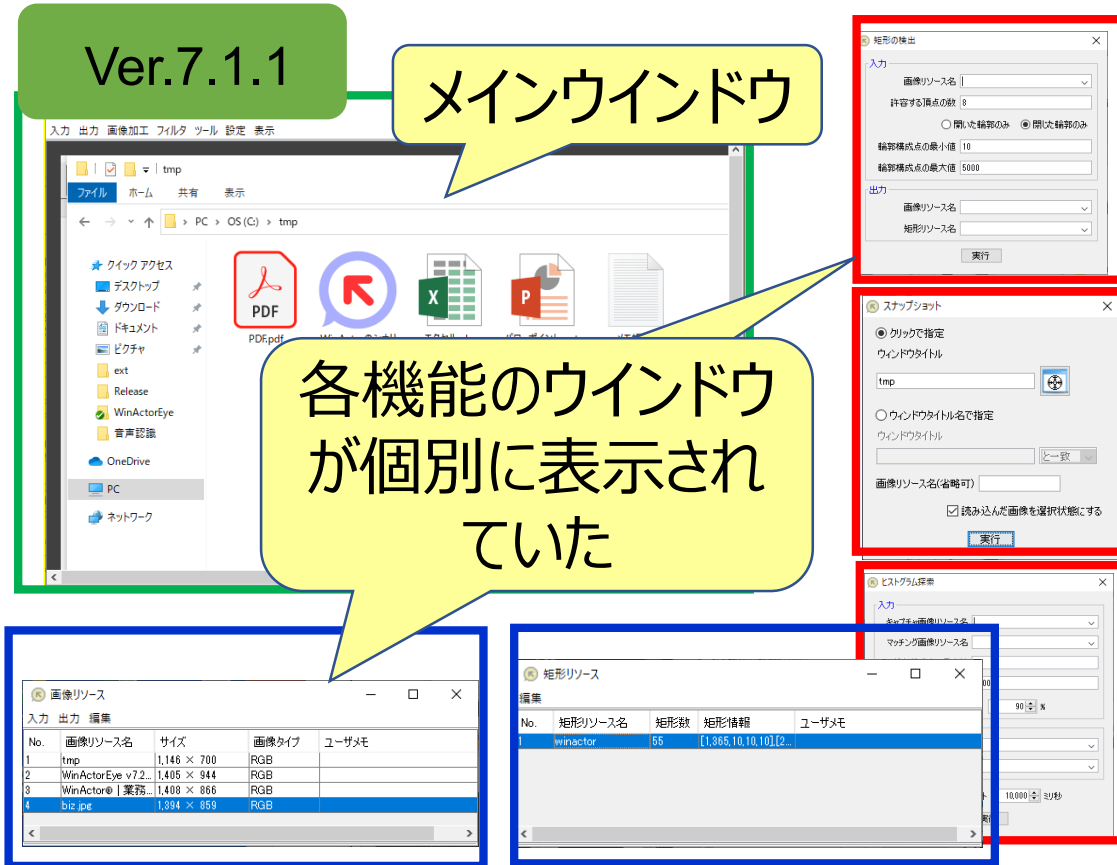
Ver.7.1.1

メインウインドウ

各機能のウインドウ
が個別に表示され
ていた

Ver.7.2.0

1つのウインドウに集約



UI、操作性の改善（2/2）

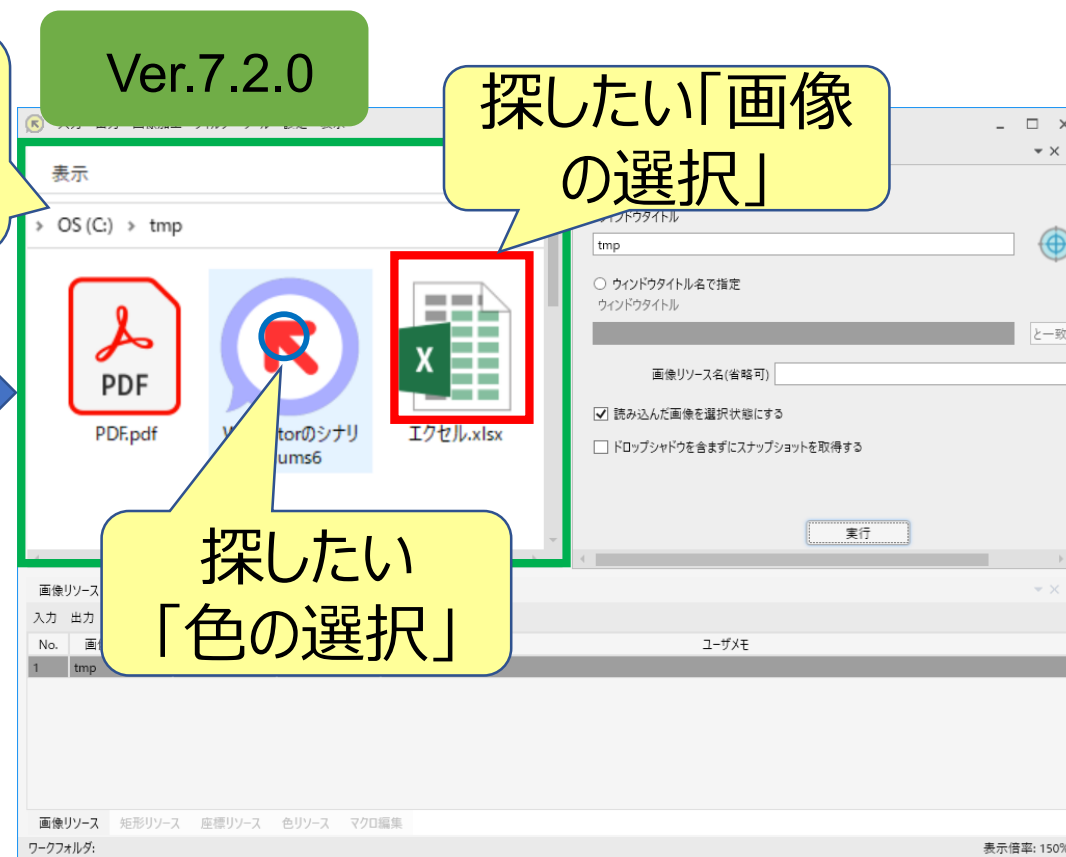
NTT-ATの5つのビジョン。



メインウィンドウの拡大・縮小が可能となりました。

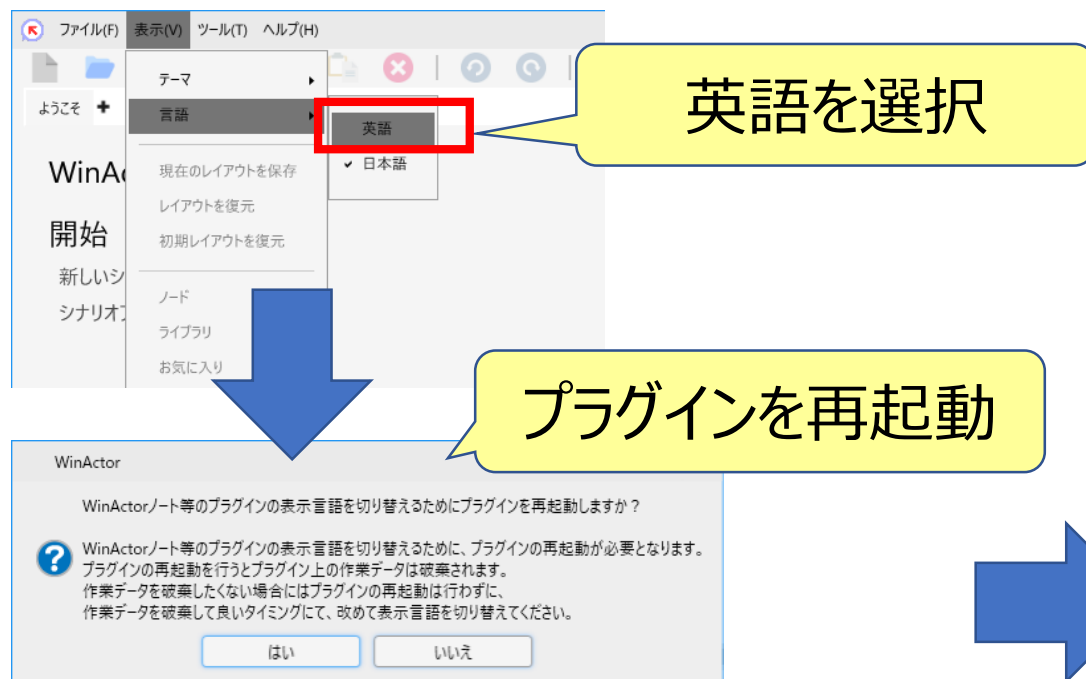


これにより、探索対象画像に対する、より正確な「色の選択」や「画像の選択」が可能となります。

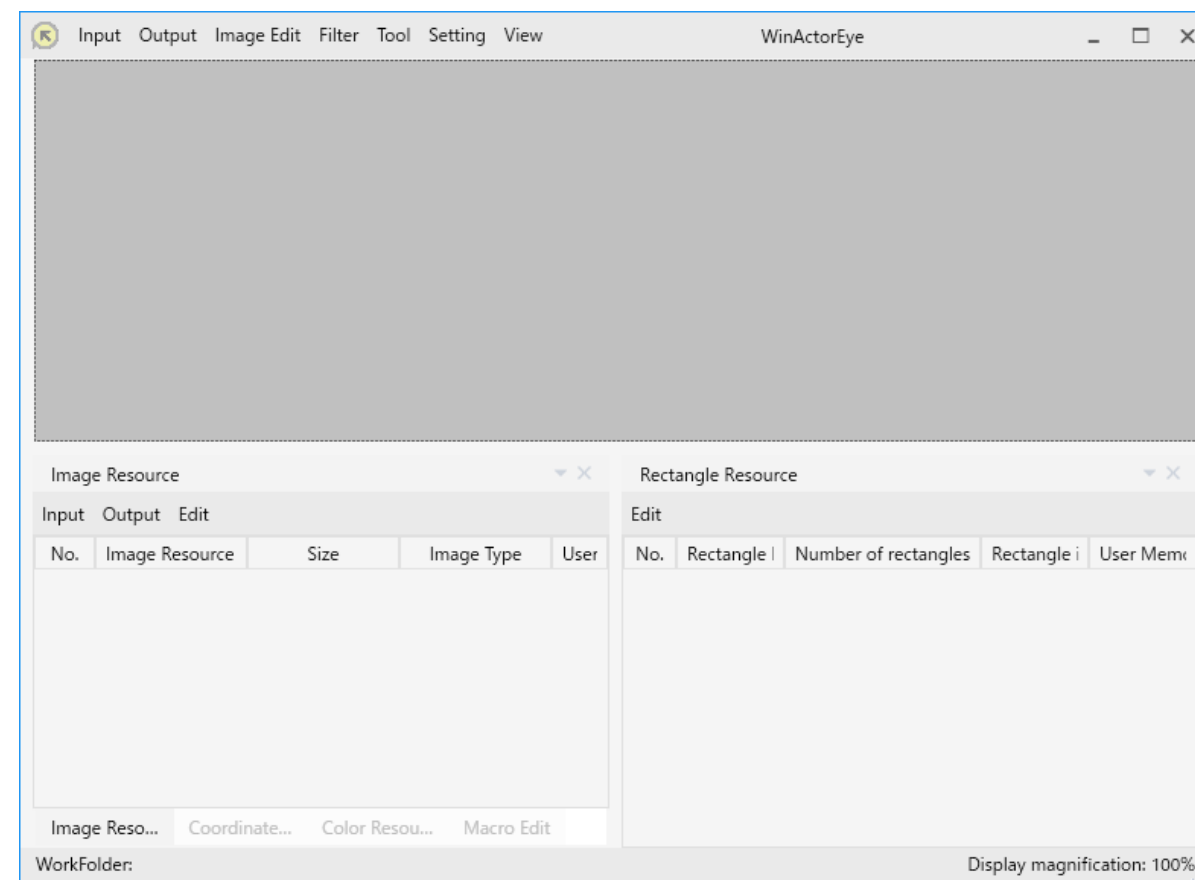




WinActorにて英語を選択すると
WinActorEyeも英語表記となります。



※ダイアログに従いプラグインを再起動するまで言語切り替えは
WinActorEyeに反映されません。
※プラグインを再起動すると、WinActorEyeを含むプラグイン上で
作業中のデータは失われますので、予め保存してください。





画像に含まれる「QRコードやバーコード」の読み込み・作成が可能となりました。
今まで人が行っていたQRコード読み取り業務や作成業務の自動化が可能となります。

利用シーン

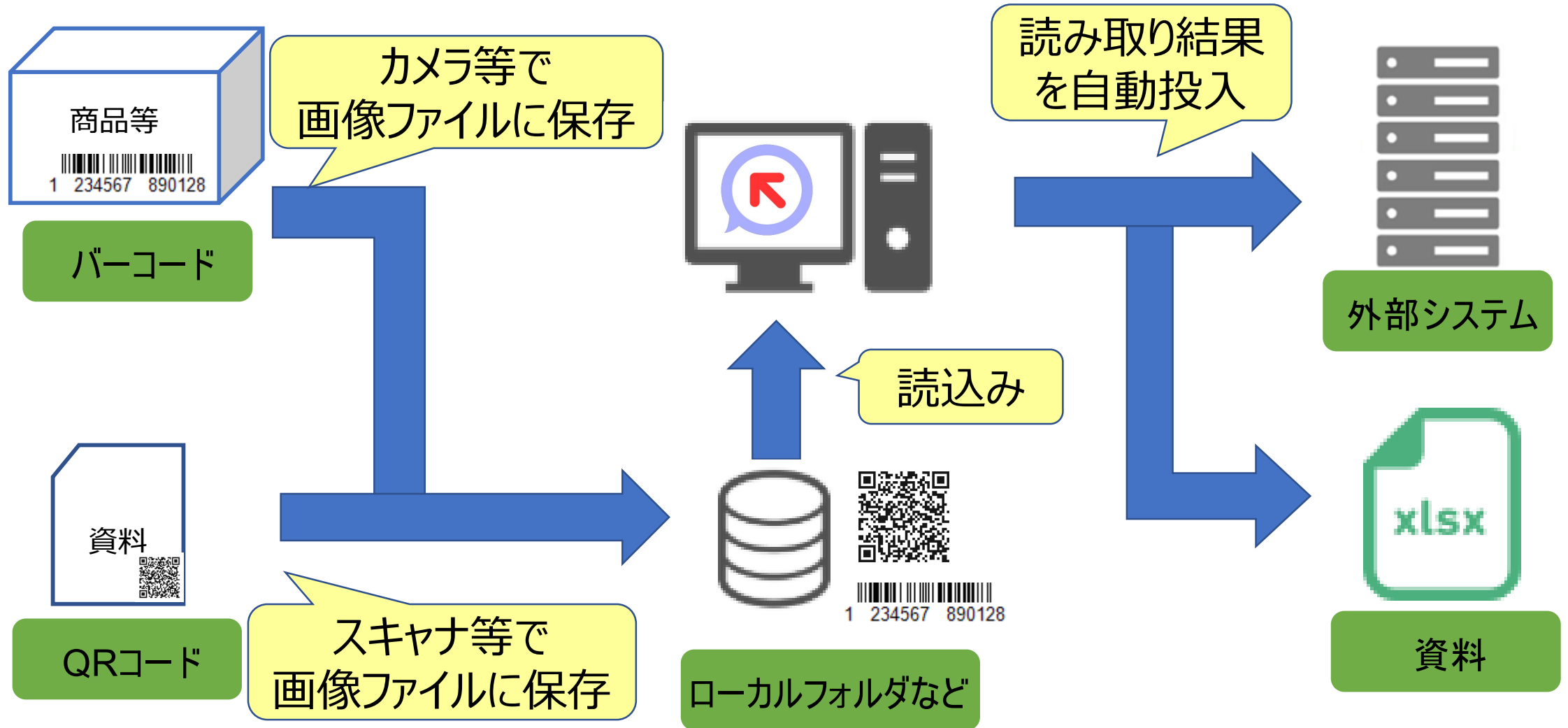
- ① スキャナやカメラを用いてQRコードやバーコードを画像に保存し、読み込み結果（商品情報など）を自動でシステムに投入する。
- ② QRコードを自動作成し、任意の資料に貼り付ける。

QRコード/バーコード読み取り・作成機能（2 / 2）

NTT-ATの5つのビジョン。



QRコード/バーコード読み取りイメージ



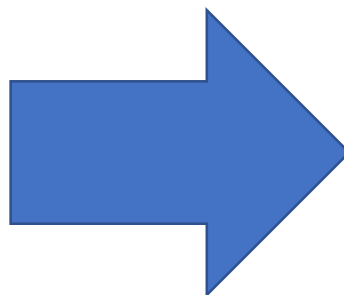


既存の探索手段に加え、新たな探索条件である「指定色探索、円のあてはめ」を使用することで、より正確にUIやアイコンを特定することが可能になります。

Ver.7.1.1

ヒストグラムマッチング

矩形(四角形)の検出



Ver.7.2.0

ヒストグラムマッチング

矩形(四角形)の検出

指定色探索

円のあてはめ

NEW

探索手段の拡大、直感的操作可能な探索機能の追加

NTT-ATの5つのビジョン。



直感的な操作で探したい色を指定した探索が可能となりました。



例)WinActor公式HP上のサンプルシナリオページでピンクのアイコンを探索する

①探したいUIやアイコンを左クリック

スポイトツール機能

色リソース

No.	色リソース名	パレット	色情報[RGBA]
1	ピンク		[234, 104, 162, 255]

②自動的に色が認識され、色リソースとして管理できる
※この例ではピンク色

指定色探索機能

③この色を指定して探索をすることが可能

探索手段の拡大、直感的操作可能な探索機能の追加

NTT-ATの5つのビジョン。

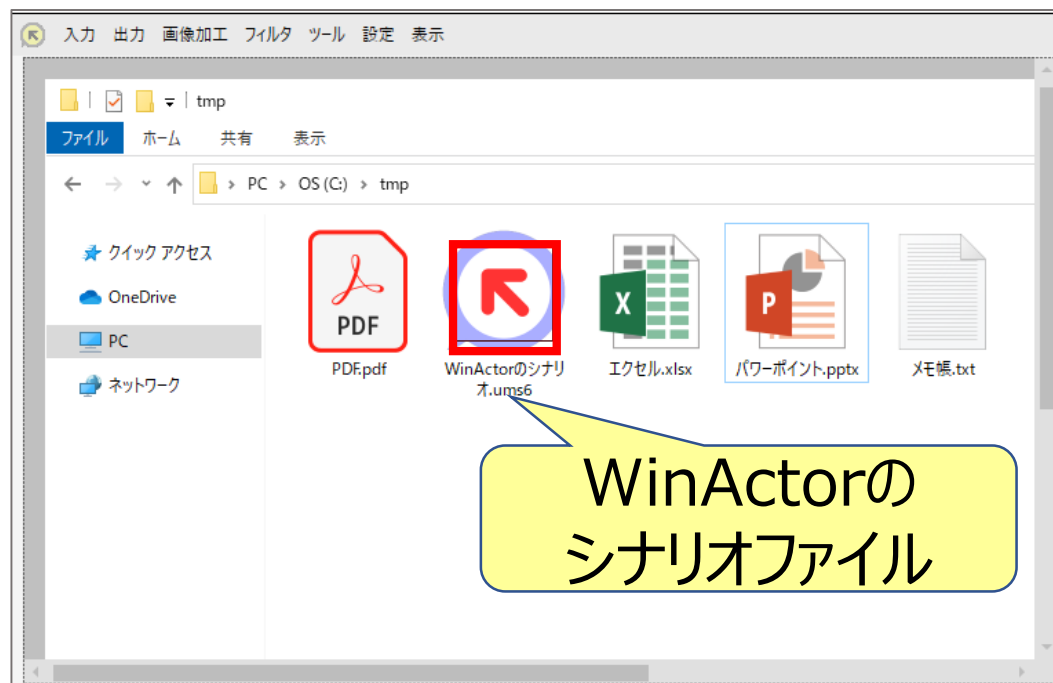


丸い形をしたUIやアイコンを探索することが可能となりました。






本機能(円のあてはめ機能)を使用することで、下記が可能となります。

- ・デスクトップやフォルダ内で丸い形をしたアイコンの特定が可能
- ・Web画面や連携システム上の丸い形をしたUIの特定が可能



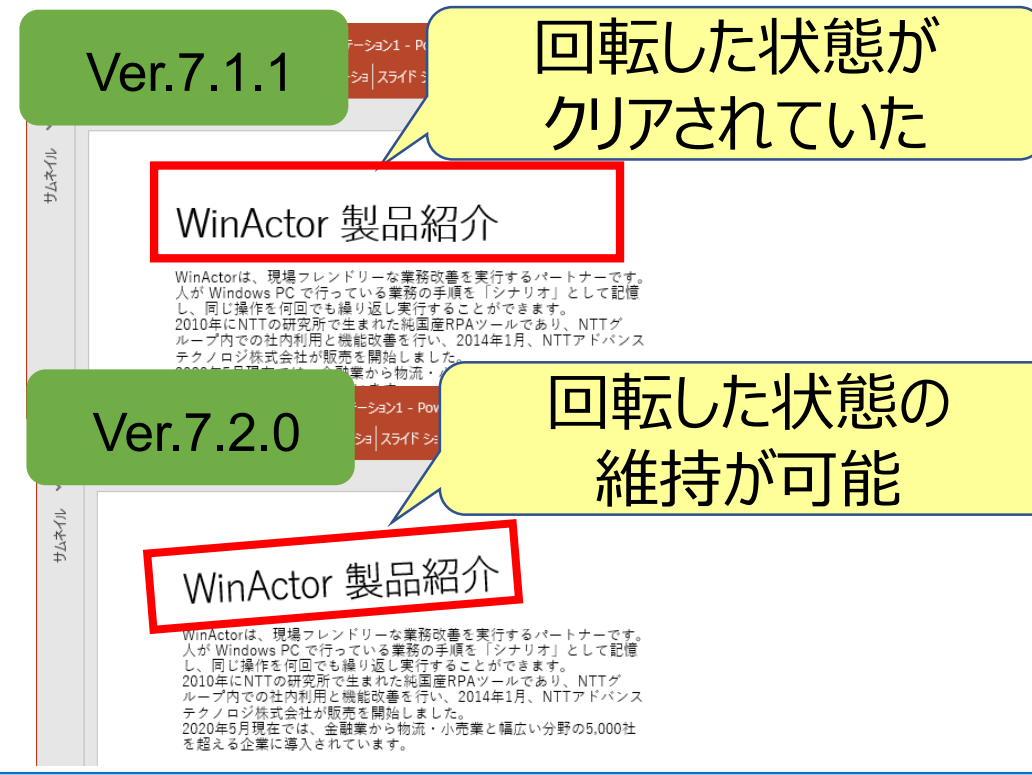
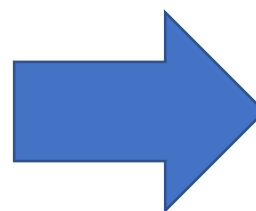
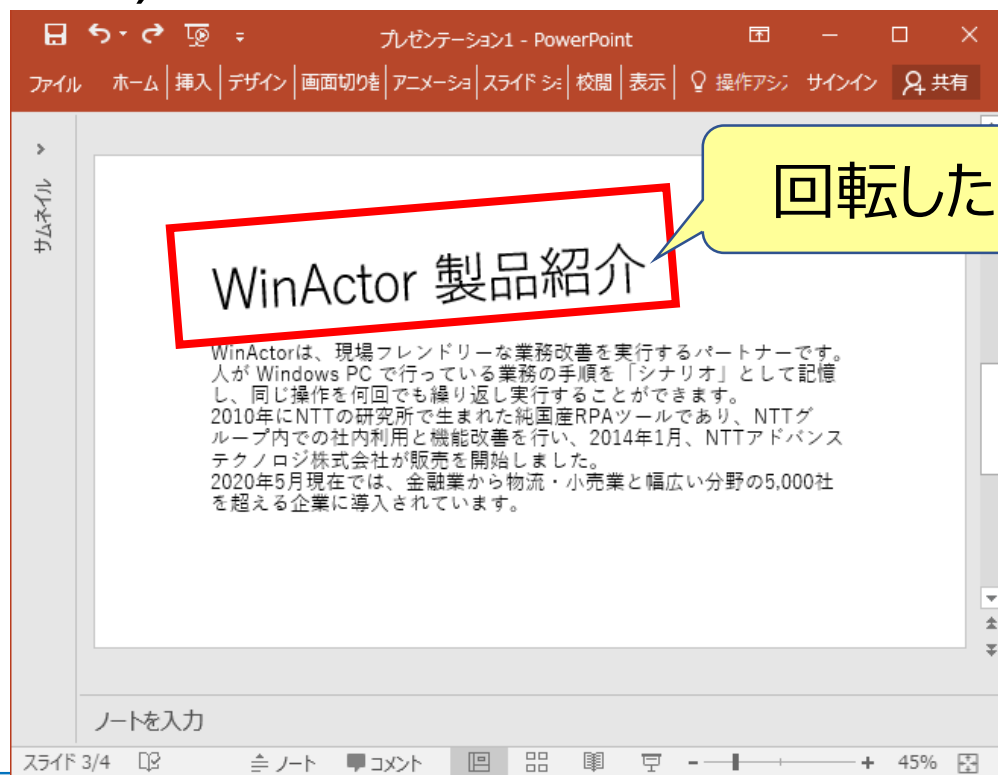
リソース情報の拡張(角度情報)



画像の探索結果(矩形リソース情報)に角度情報追加しました。   

これにより、OCRツールなどで検出する「回転した文字情報」について、角度情報を維持したままオブジェクトを扱うことが可能となります。

例) PowerPointの「回転された文章」を別のPowerPointに張り付ける場合



リソース編集機能の改善

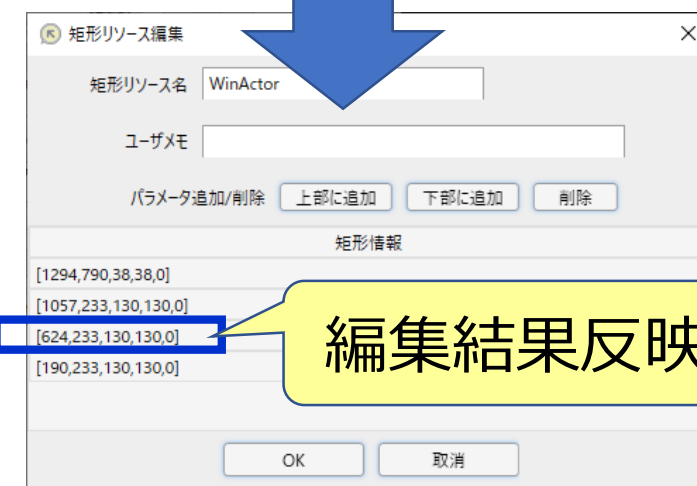
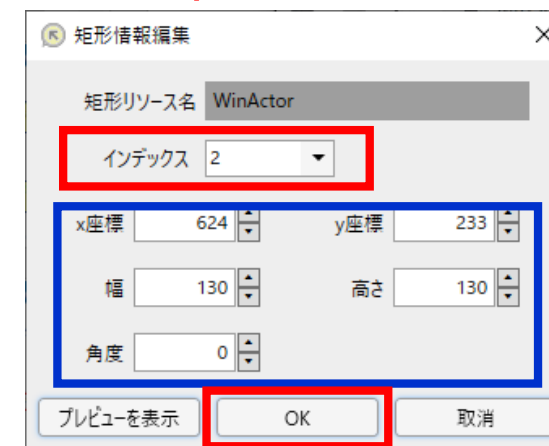
NTT-ATの5つのビジョン。



矩形リソース、座標リソース情報の編集機能を改善しました。



各リソース画面からの編集に加え、探索結果(メイン画面)からもリソース情報の修正・確認を行うことが可能となります。

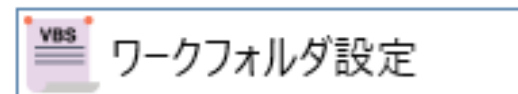


ワークフォルダ設定・表示

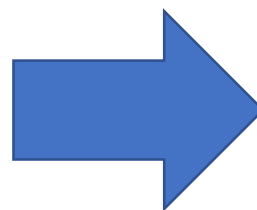
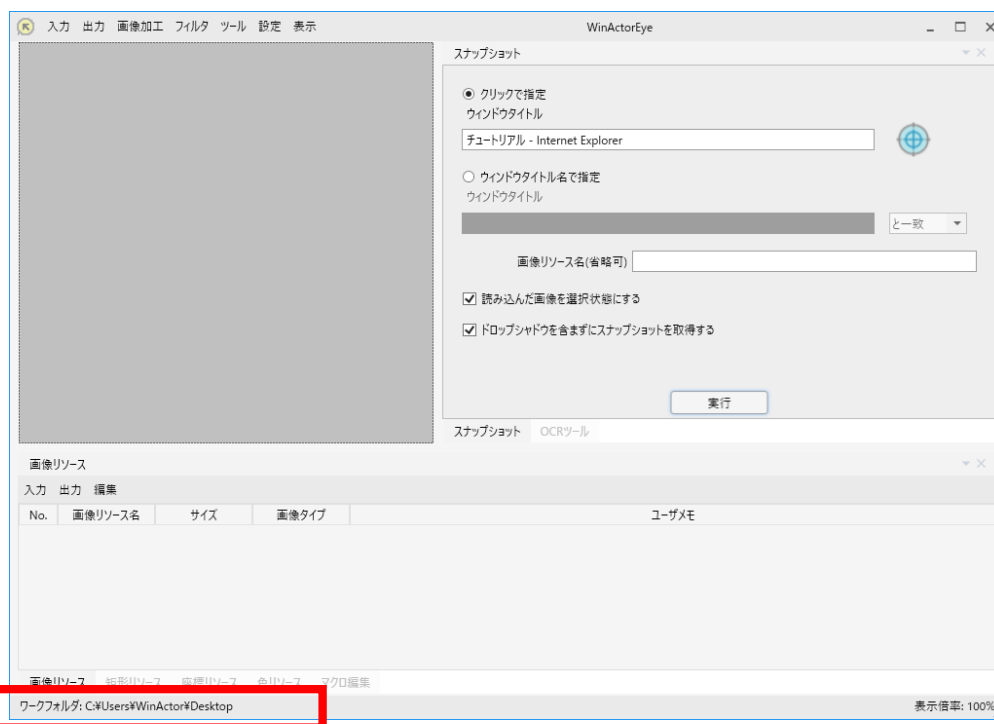
NTT-ATの5つのビジョン。



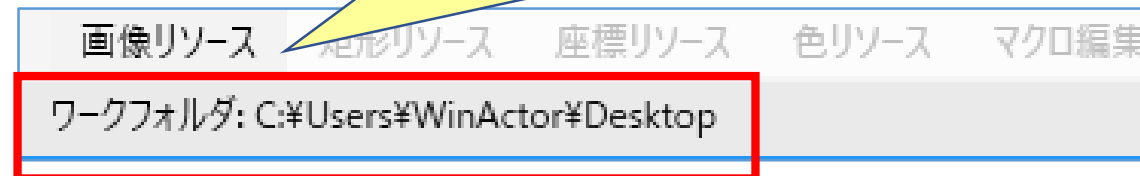
ファイル操作などの起点となる「ワークフォルダ」のフォルダパスをユーザライブラリで設定可能となりました。



また、WinActorEyeのフッターでワークフォルダを確認することが可能となりました。



ワークフォルダのパスをフッターで確認することが可能



スナップショット機能の改善（1 / 2）



画像のキャプチャを行うための「スナップショット機能」で
ウィンドウ枠の影(以降ドロップシャドウ)を含むか否かを選択可能としました。



WinActorEyeのマクロ実行後にユーザライブラリを使用してマウス操作をする場合は、ドロップシャドウありでシナリオを作成してください。アプリケーションの画面のみをキャプチャしファイル保存したい場合などは、ドロップシャドウなしでシナリオを作成してください。

スナップショット

☒ クリックで指定
ウィンドウタイトル
チュートリアル - Internet Explorer

☐ ウィンドウタイトル名で指定
ウィンドウタイトル
と一致

画像リソース名(省略可)

☒ 読み込んだ画像を選択状態にする

☐ ドロップシャドウを含まずにスナップショットを取得する

実行

ドロップシャドウの
有無を選択可能

スナップショット機能の改善 (2 / 2)

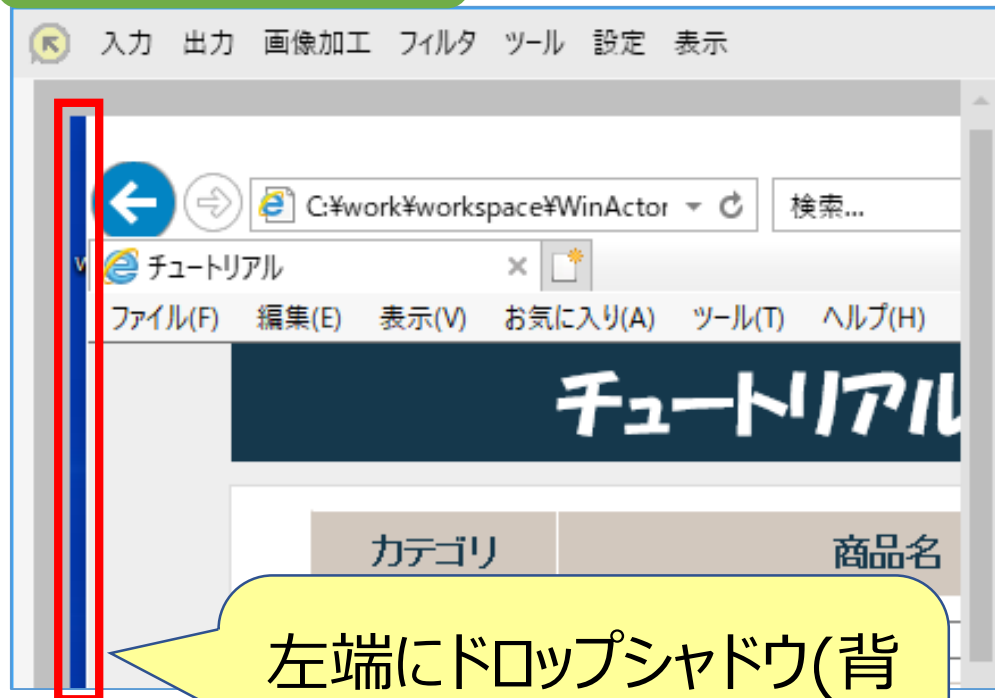
NTT-ATの5つのビジョン。



ドロップシャドウ有無のイメージ

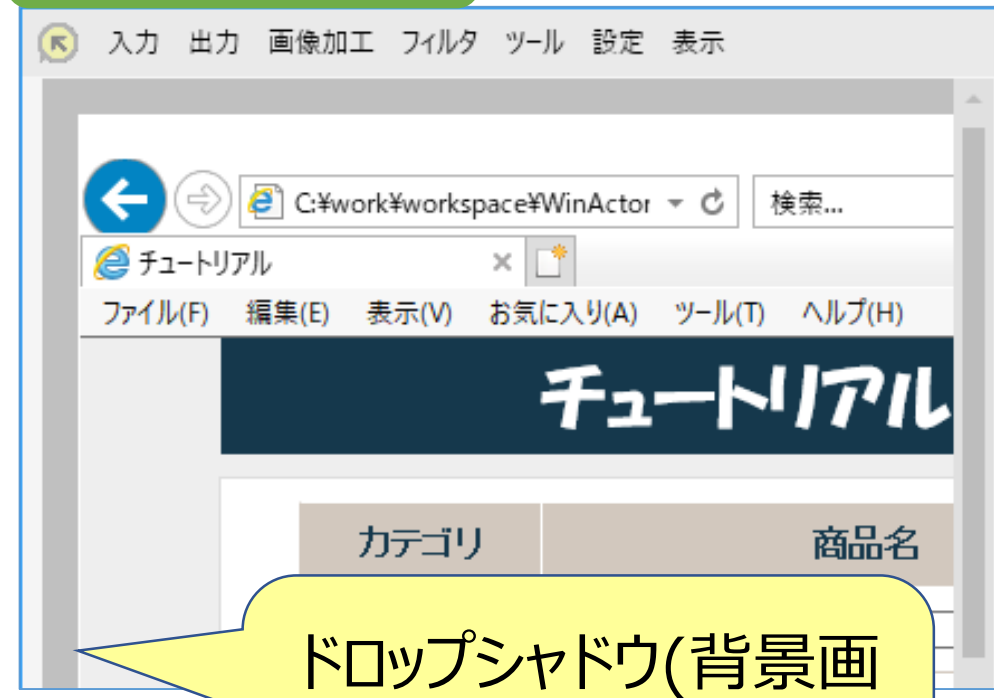


ドロップシャドウあり



左端にドロップシャドウ(背景画像)が含まれて画像取得される(ver.6仕様)

ドロップシャドウなし



ドロップシャドウ(背景画像)は含まれず画像取得される(ver.7仕様)



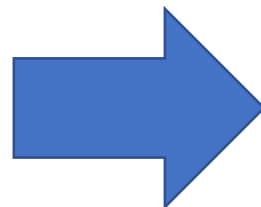
シナリオ作成を容易にするため、ユーザライブラリを拡充しました。



FULL

Ver.7.1.1

- Eye: マクロ読み込み実行
- 座標情報取得
- 座標数取得



Ver.7.2.0

- Eye: マクロ読み込み実行
- 座標情報取得
- 座標数取得
- 座標情報の取得・マウス操作
- 矩形情報取得
- 矩形数取得
- 画像情報取得
- Eye: ワークフォルダ設定
- 全リソースクリア
- 画像ファイル読み込み



下記の不具合対応を行いました。



- ① MSOCRツールにおいて、画像リソース RGB/Aとして取り込まれた pngファイルの処理でエラーが発生する。
- ② 画像書き出し画面で、色深度が1bitの画像をJPEGで書き出すと、色深度が24bitで書き出される。
- ③ ヒストグラム探索で「選択した矩形リソース」に上書きできない。
- ④ Eyeマクロ読み込み実行ライブラリを含むシナリオをループ実行すると2ループ目でエラーが発生する。



Ver.7.2.0のWinActorEyeには以下の制約があります。



- ① バーコードツールで作成したバーコードの画像を拡大・縮小するとバーコードツールで読み取りできなくなることがあります。拡大して使用する場合は、縦横比を維持し、バーコードの画像サイズの整数倍に拡大してください。また、拡大・縮小する際は、「WinActorEye操作マニュアル 8.4 バーコードツール」に記載の通り正しく読み取れることを確認の上、ご利用ください。本事象は順次改善を実施します。



WinActor[®] Ver.7.2.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2021 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-G-WAE-1225

未 来 を 拓 く チ カ ラ と 技 術 。

